

令和2年6月24日
 島根県健康福祉部青少年家庭課
 児童・家庭相談支援スタッフ
 担当：山崎紀子、高橋博
 電話：0852-22-6392

令和元年度に各児童相談所及び各市町村で対応した児童相談の状況及び児童虐待相談の状況は下記のとおりでしたのでお知らせします。

令和元年度 児童相談の状況について

1 児童相談の対応状況

令和2年6月
 青少年家庭課

相談種別	平成29年度				平成30年度				令和元年度			
	○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村	
養護相談 (虐待相談を含む)	841	37.5%	565	68.5%	1,059	42.2%	518	64.9%	1,120	44.9%	673	62.7%
保健相談	1	0.0%	12	1.5%	0	0.0%	8	1.0%	0	0.0%	9	0.8%
障がい相談	960	42.8%	55	6.7%	960	38.2%	63	7.9%	930	37.2%	62	5.8%
非行相談	90	4.0%	7	0.8%	74	2.9%	7	0.9%	60	2.4%	6	0.6%
育成相談	303	13.5%	116	14.1%	384	15.3%	114	14.3%	350	14.0%	177	16.5%
その他	49	2.2%	70	8.5%	35	1.4%	88	11.0%	37	1.5%	147	13.7%
合計	2,244	100.0%	825	100.0%	2,512	100.0%	798	100.0%	2,497	100.0%	1,074	100.0%

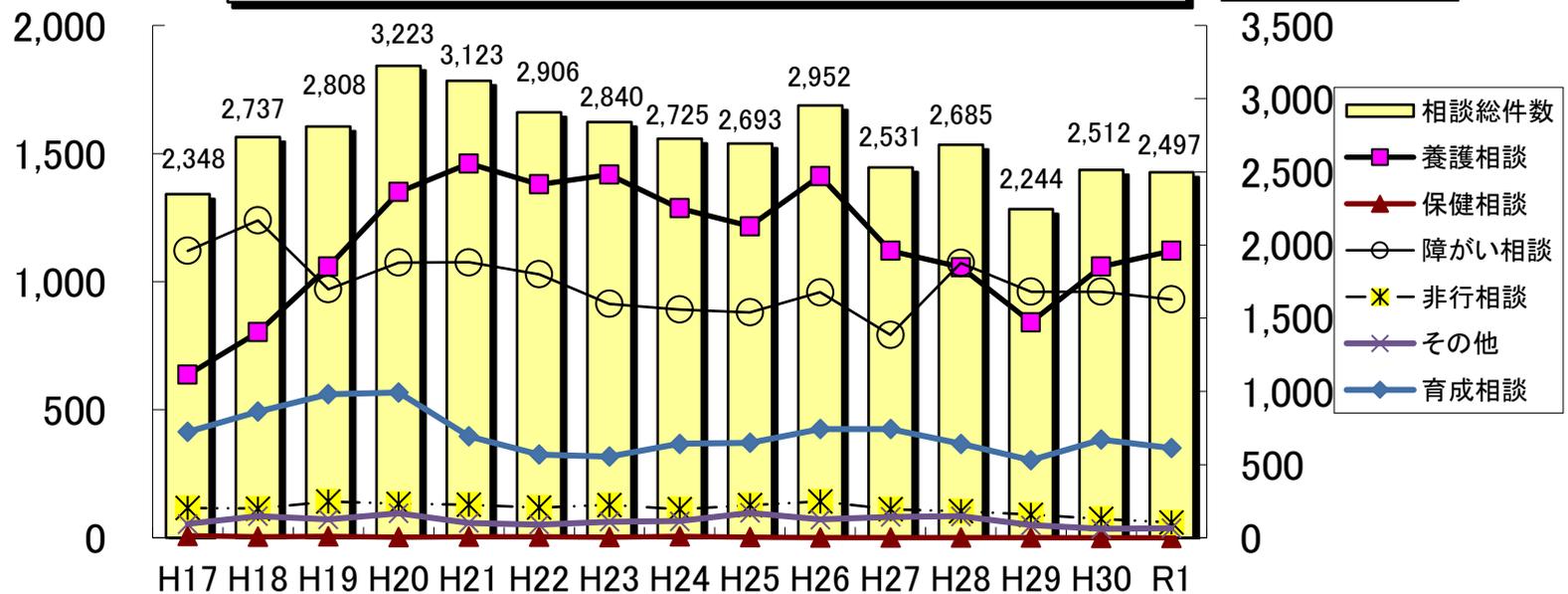
○令和元年度の対応件数は、児童相談所で2,497件（*前年比：15件減/約1%減）。市町村は1,074件（*前年比：276件増/約35%増）

○相談種別は、児童相談所は養護相談が最も多く、次いで障がい相談、市町村では養護相談が最も多く、次いで育成相談となっている。

相談種別件数
(折線グラフ)

児童相談所における児童相談対応状況の推移

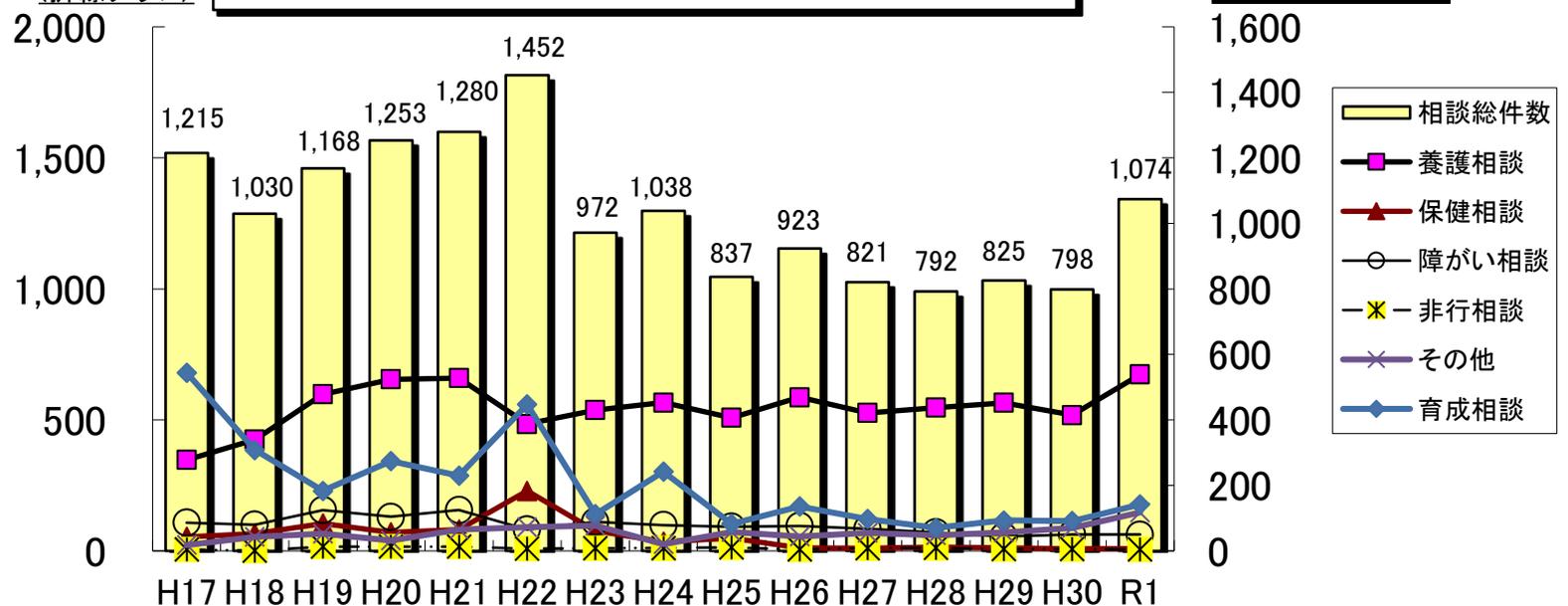
総件数(棒グラフ)



相談種別件数
(折線グラフ)

市町村における児童相談対応状況の推移

総件数(棒グラフ)

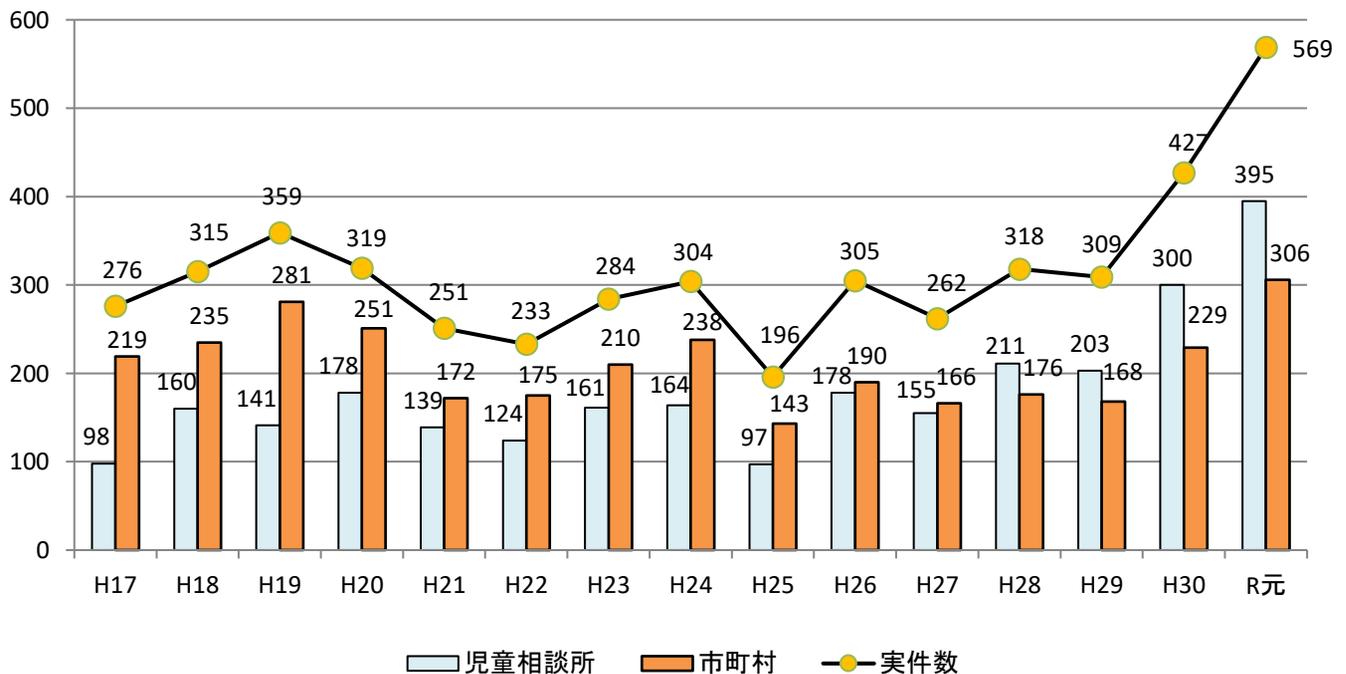


《参考》相談の種類及び主な内容

1. 養護相談	父又は母等保護者の家出、失踪、死亡、離婚、入院、稼働及び服役等による養育困難、棄児、迷子、虐待等の環境の問題を有する子ども、養子縁組に関する相談
2. 保健相談	未熟児、虚弱児、内部機能障がい、小児喘息、その他の疾患(精神疾患を含む)等を有する子どもに関する相談
3. 障がい相談	肢体不自由、視聴覚障がい、言語発達障がい、重症心身障がい、知的障がい、自閉症等に関する相談
4. 非行相談	
ぐ犯等相談	虚言癖、夜食癖、家出、浮浪、乱暴、性的逃脱等の、犯行疑わしくは飲酒、喫煙等の問題行動のある子ども、警察署からぐ犯少年として通告のあった子ども等に関する相談
触法行為等相談	触法行為があったとして警察署から通告のあった子ども、犯罪少年で家庭裁判所から送致のあった子どもに関する相談
5. 育成相談	性格行動、不登校、進学適性・職業適性・学業不振等、育児・しつけに関する相談
6. その他の相談	上記のいずれにも該当しない相談

2 児童虐待相談の状況

○児童虐待相談対応(認定)件数の推移



○令和元年度の児童虐待相談の対応(認定)件数は、児童相談所が395件(前年比約32%の増)、市町村が306件(同約34%の増)となった。

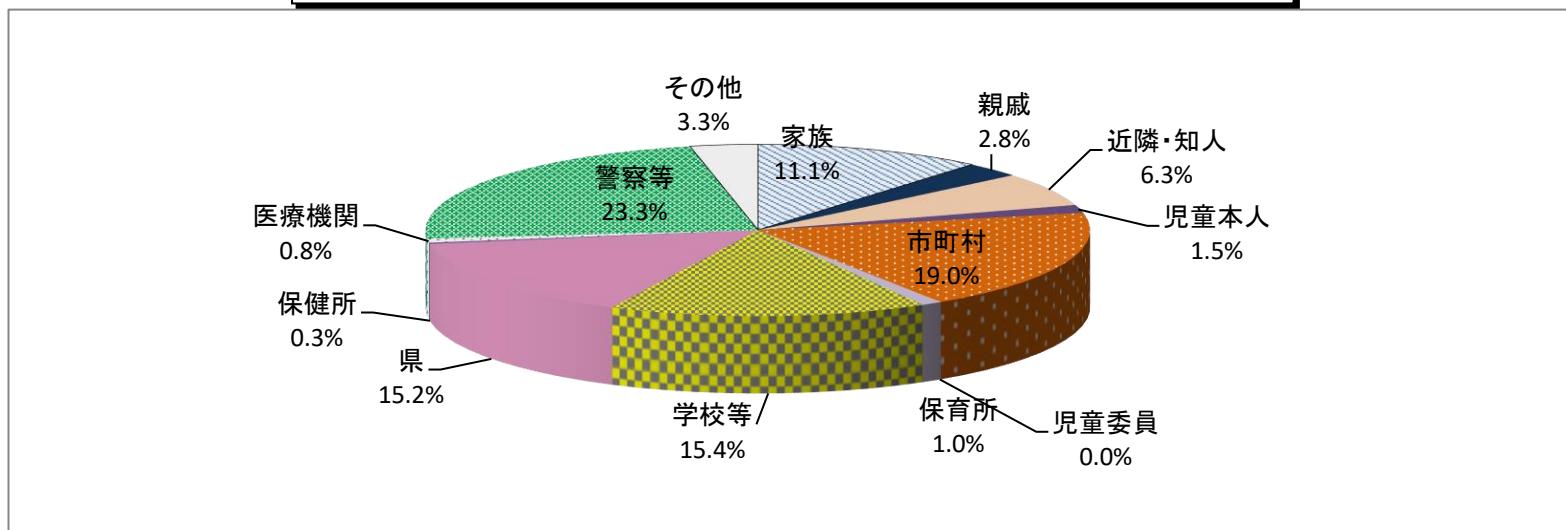
○児童相談所と市町村で連携して関わった重複ケース132件を除くと、県内で新たに児童虐待相談として対応(認定)した件数は569件で、前年比約33%の増となった。

- ・平成29年度：309件《203件(児童相談所分)+168件(市町村分)-62件(重複分)=309件》
- ・平成30年度：427件《300件(児童相談所分)+229件(市町村分)-102件(重複分)=427件》
- ・令和元年度：569件《395件(児童相談所分)+306件(市町村分)-132件(重複分)=569件》

(1)- 1 受付経路(児童相談所)

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
H29年度	20	5	7	3	35	0	6	32	23	0	6	61	5	203
	9.9%	2.5%	3.4%	1.5%	17.2%	0.0%	3.0%	15.8%	11.3%	0.0%	3.0%	30.0%	2.5%	100.0%
H30年度	30	2	10	4	46	1	17	30	26	0	7	125	2	300
	10.0%	0.7%	3.3%	1.3%	15.3%	0.3%	5.7%	10.0%	8.7%	0.0%	2.3%	41.7%	0.7%	100.0%
R元年度	44	11	25	6	75	0	4	61	60	1	3	92	13	395
	11.1%	2.8%	6.3%	1.5%	19.0%	0.0%	1.0%	15.4%	15.2%	0.3%	0.8%	23.3%	3.3%	100.0%

○令和元年度 児童相談所における児童虐待相談受付経路

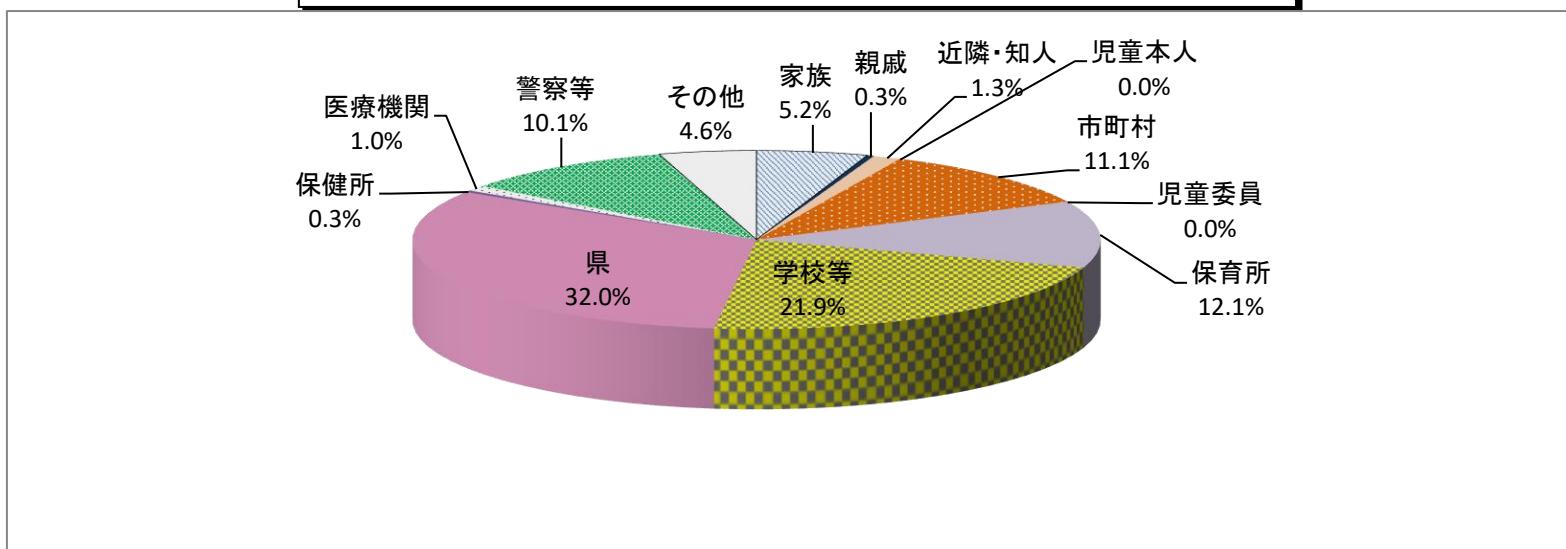


- 児童相談所に寄せられた児童虐待相談は、警察等からが全体の2割以上を占めており、次いで市町村、学校等、県からとなっている。
- 警察等からの受付が前年と比べて減少し、学校等、県からの受付件数が、前年と比べて倍以上になっている。

(1)- 2 受付経路(市町村)

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
H29年度	14	3	11	0	21	0	9	28	50	2	6	13	11	168
	8.3%	1.8%	6.5%	0.0%	12.5%	0.0%	5.4%	16.7%	29.8%	1.2%	3.6%	7.7%	6.5%	100.0%
H30年度	10	1	7	3	43	0	19	42	64	1	4	31	4	229
	4.4%	0.4%	3.1%	1.3%	18.8%	0.0%	8.3%	18.3%	27.9%	0.4%	1.7%	13.5%	1.7%	100.0%
R元年度	16	1	4	0	34	0	37	67	98	1	3	31	14	306
	5.2%	0.3%	1.3%	0.0%	11.1%	0.0%	12.1%	21.9%	32.0%	0.3%	1.0%	10.1%	4.6%	100.0%

○令和元年度 市町村における児童虐待相談受付経路

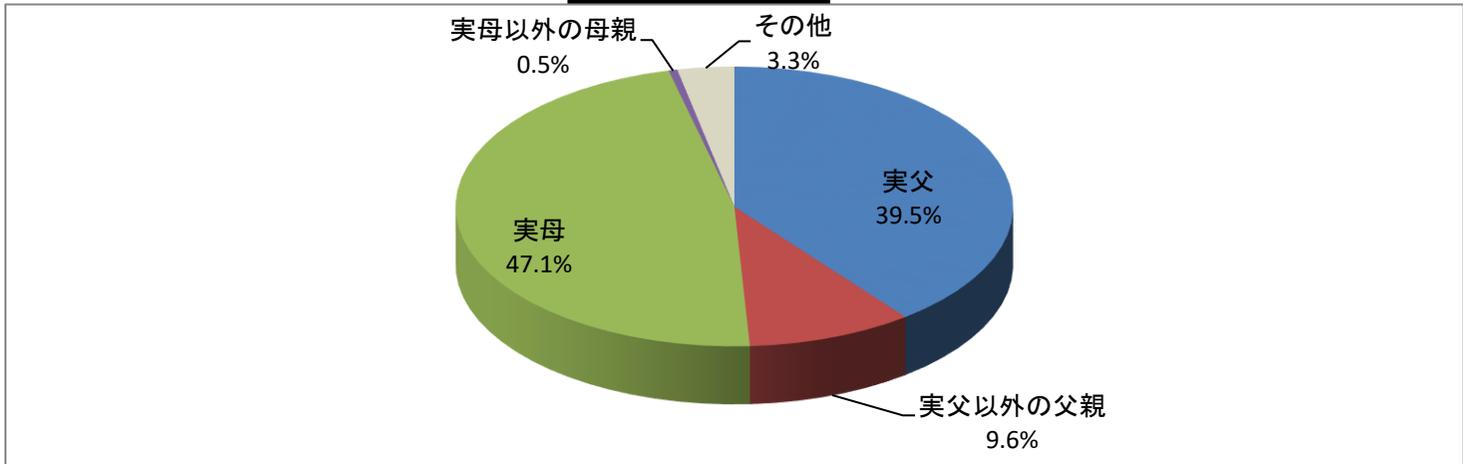


- 市町村に寄せられた児童虐待相談は、県からが多く、次いで学校等、保育所からとなっている。

(2) 主な虐待者(児童相談所)

区分	実父		実父以外の父親		実母		実母以外の母		その他		計	
H29年度	76	37.4%	27	13.3%	84	41.4%	0	0.0%	16	7.9%	203	100.0%
H30年度	124	41.3%	22	7.3%	136	45.3%	7	2.3%	11	3.7%	300	100.0%
R元年度	156	39.5%	38	9.6%	186	47.1%	2	0.5%	13	3.3%	395	100.0%

○主な虐待者

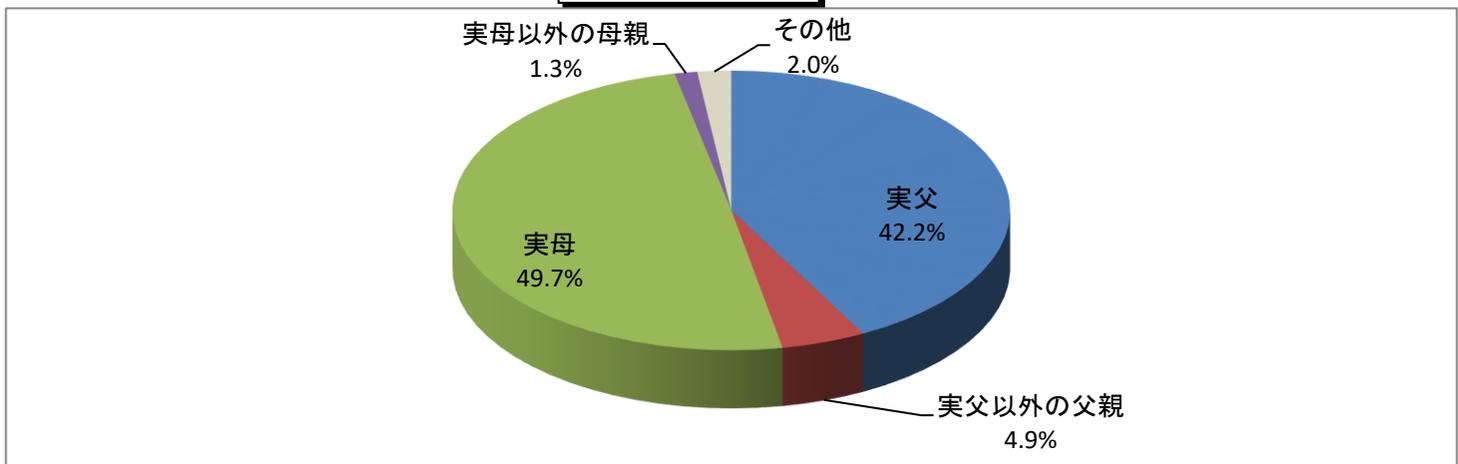


○主な虐待者は、実母が186件（47.1%）と最も多く、次いで実父が156件（39.5%）、実父以外の父親が38件（9.6%）となっている。

(2)-2 主な虐待者(市町村)

区分	実父		実父以外の父親		実母		実母以外の母		その他		計	
H29年度	57	33.9%	18	10.7%	82	48.8%	0	0.0%	11	6.5%	168	100.0%
H30年度	91	39.7%	14	6.1%	118	51.5%	1	0.4%	5	2.2%	229	100.0%
R元年度	129	42.2%	15	4.9%	152	49.7%	4	1.3%	6	2.0%	306	100.0%

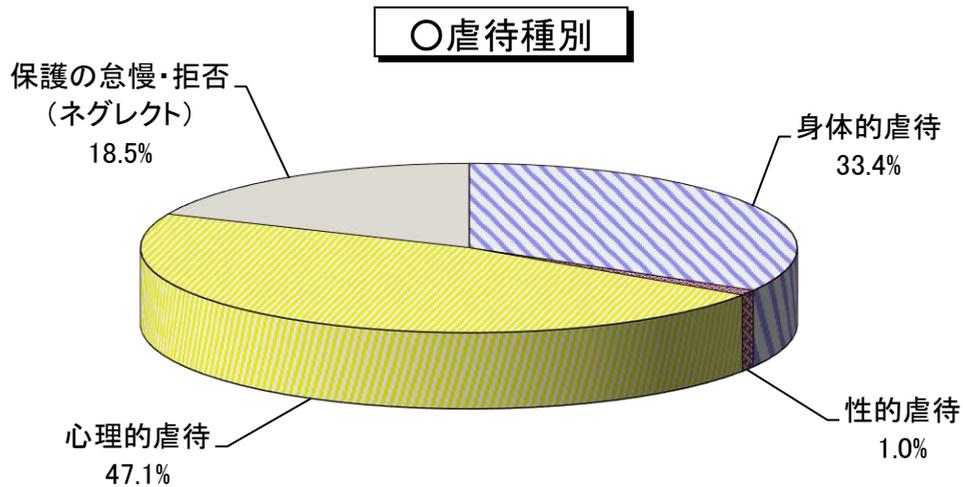
○主な虐待者



○主な虐待者は、実母が152件（49.7%）と最も多く、次いで実父が129件（42.2%）、実父以外の父親が15件（4.9%）となっている。

(3) 虐待種別(児童相談所)

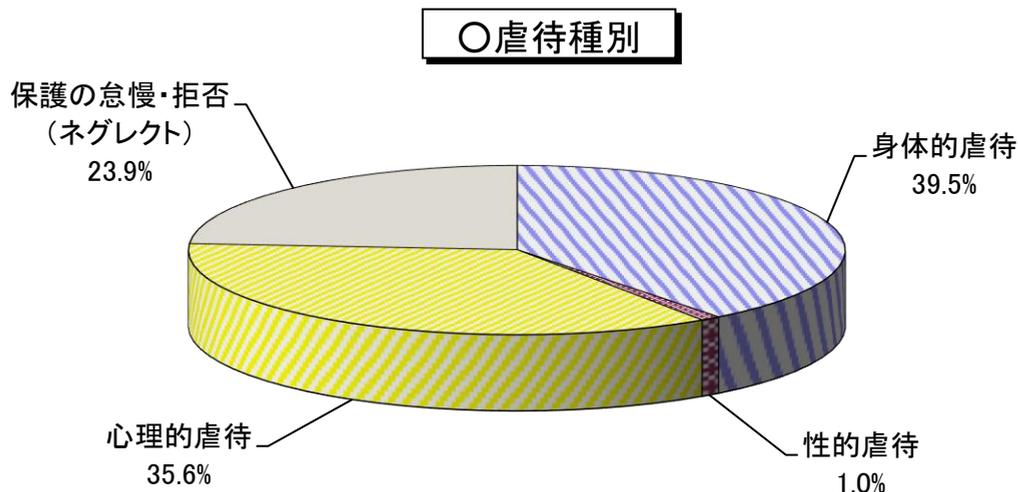
	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
H29年度	63	31.0%	3	1.5%	104	51.2%	33	16.3%	203	100.0%
H30年度	71	23.7%	2	0.7%	178	59.3%	49	16.3%	300	100.0%
R元年度	132	33.4%	4	1.0%	186	47.1%	73	18.5%	395	100.0%



○虐待の種別を見ると、心理的虐待が186件（47.1%）で最も多く、次いで、身体的虐待が132件（33.4%）、保護の怠慢・拒否（ネグレクト）が73件（18.5%）となっている。

(3)-2 虐待種別(市町村)

	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
H29年度	72	42.9%	1	0.6%	55	32.7%	40	23.8%	168	100.0%
H30年度	69	30.1%	1	0.4%	107	46.7%	52	22.7%	229	100.0%
R元年度	121	39.5%	3	1.0%	109	35.6%	73	23.9%	306	100.0%

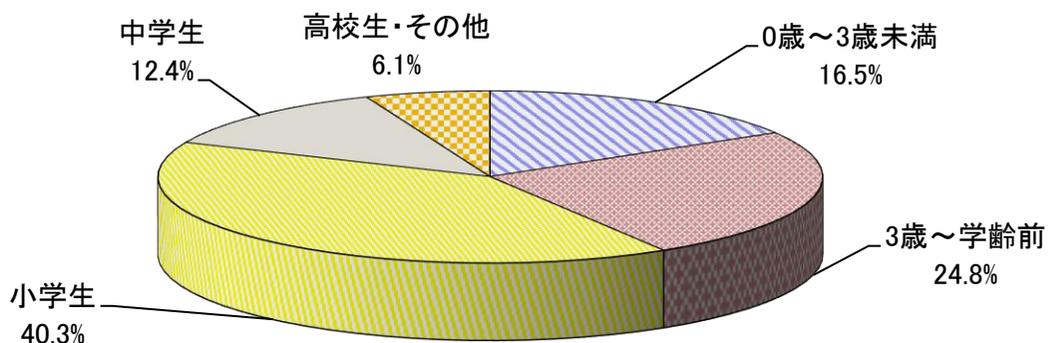


○虐待の種別を見ると、身体的虐待が121件（39.5%）で最も多く、次いで、心理的虐待が109件（35.6%）、保護の怠慢・拒否（ネグレクト）が73件（23.9%）となっている。

(4)被虐待者の年齢(児童相談所)

区分	0歳～3歳未満 (0～2歳)		3歳～学齢前 (3～6歳)		小学生 (7～12歳)		中学生 (13～15歳)		高校生・その他 (16～18歳)		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
H29年度	32	15.8%	39	19.2%	71	35.0%	44	21.7%	17	8.4%	203	100.0%
H30年度	52	17.3%	74	24.7%	118	39.3%	42	14.0%	14	4.7%	300	100.0%
R元年度	65	16.5%	98	24.8%	159	40.3%	49	12.4%	24	6.1%	395	100.0%

○被虐待者の年齢

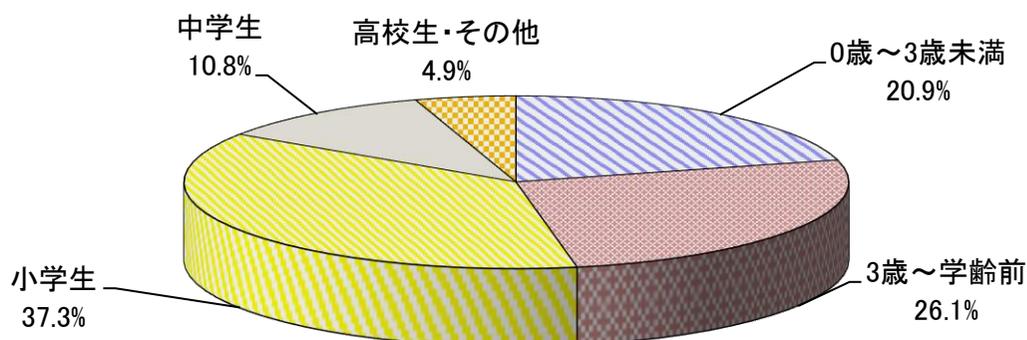


○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が159件（40.3%）で最も多く、次いで3歳～学齢前が98件（24.8%）、0歳～3歳未満が65件（16.5%）、中学生が49件（12.4%）となっている。

(4)-2 被虐待者の年齢(市町村)

区分	0歳～3歳未満 (0～2歳)		3歳～学齢前 (3～6歳)		小学生 (7～12歳)		中学生 (13～15歳)		高校生・その他 (16～18歳)		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
H29年度	26	15.5%	47	28.0%	59	35.1%	26	15.5%	10	6.0%	168	100.0%
H30年度	47	20.5%	64	27.9%	82	35.8%	28	12.2%	8	3.5%	229	100.0%
R元年度	64	20.9%	80	26.1%	114	37.3%	33	10.8%	15	4.9%	306	100.0%

○被虐待者の年齢



○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が114件（37.3%）で最も多く、次いで3歳～学齢前が80件（26.1%）、0歳～3歳未満が64件（20.9%）、中学生が33件（10.8%）となっている。